

審議会意見を踏まえた令和8年度事業計画の修正点について

<計画の設定等に関する内容ほか>

- 審議会として評価しやすい形で数値目標を設定
→ 重点取組について、定量評価の数値目標を設定
- 具体的な施策について委員の意見を集める場を設定
→ 令和8年度の審議会では、令和7年度実績と令和8年度計画に関する意見をいただく。

<表記・表現等に関する内容>

- 推進事業の記載方法について、【新規】【充実】でまとめて掲載し、継続事業がわかるように表記
→ 推進事業を【新規】【充実】【継続】の順に並べ替え、事業ごとにその別を明記
- 個別施策⑩ 消費者教育に関する事業について、大学や小中学校、PTAなどアプローチの対象やライフステージごとに整理して表記
→ 当該施策に関する推進事業を、カテゴリーごとに分類して並べ替え
- 重点取組1 高齢者からの相談が多いことを示す際の工夫が必要
→ 被害が潜在化しやすい点や、過去5年で最高となった点を追記
- 個別施策② 災害・感染症拡大時に求める消費行動として、「合理的な」という言葉の使い方は不適切
→ 当該箇所を削除

<参考：事業実施に向けてのご意見など>

- ・ 京都市単独ではマンパワーが不足で、他機関や多様な主体との連携が不可欠
- ・ 新規事業の充実を打ち出すだけでなく、スクラップ&ビルドの考え方を意識すること
- ・ 留学生が何に困っているのか、日本語学校等の意見も取り入れて教材を作成
- ・ 小中学校・私立学校等の児童に直接かかわることができる取組が大事
- ・ 特別支援学校に向けた取組に際し、先生との意見交換が重要
- ・ 「ダークパターン」や「エシカル消費」等の専門用語について、用語集等によりわかりやすく
- ・ 「これがエシカル消費だった」と気づくような仕掛け
- ・ ダークパターンの啓発冊子については、先行事例等を活用して手間と予算を削減
- ・ 事業計画の概要版を作成し、継続事業は前年度実績を記載するほか、計画の進捗や達成状況を分かりやすく工夫して発信
- ・ 必須取組や強化月間の設定
- ・ 情報発信媒体の認知度について、年度当初と年度末の間で比較